

薬号外
令和2(2020)年11月27日

一般社団法人栃木県薬剤師会長
一般社団法人栃木県病院薬剤師会長
一般社団法人栃木県医薬品登録販売者協会会長
栃木県配置薬協議会会長
栃木県医薬品卸協会会長
栃木県医療機器販売業協会会長
栃木県薬事工業会会長
栃木県麻薬協会会長
一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 栃木県支部長

様

栃木県保健福祉部薬務課長

業界団体と連携した新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底について（依頼）

本県の新型コロナウイルス感染症対策につきましては、日頃から特段の御理解、御協力をいただき御礼申し上げます。

さて、全国の感染状況は増加傾向が強まり、本県においても感染拡大に更なる注意が必要な状況であることから、警戒度レベルを「感染嚴重注意」に引き上げたところです。

つきましては、栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部長から別添のとおり依頼がありましたので、貴会員等へ周知くださるようお願いいたします。

薬事審査担当（担当：鈴木）
〒320-8501 宇都宮市塙田 1-1-20
tel:028-623-3120

令和 2 (2020) 年 11 月 25 日

各部局長
教育長
警察本部長 } 様

栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部長

業界団体と連携した新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底について (依頼)

全国の感染状況は増加傾向が強まり、本県においても感染拡大に更なる注意が必要な状況であることから、警戒度レベルを「感染嚴重注意」に引き上げたところです。

今後の急速な感染拡大を防止するためには、これまで同様、県民・事業者の皆様の感染防止対策の徹底が重要であることから、その周知について、新型コロナ感染防止対策取組宣言団体をはじめとした関係団体へ改めて協力依頼を行うようお願いします。

なお、業界団体における感染防止に関する研修実施に当たり、講師派遣等の依頼があった際には、関係課及び対策本部が連携して対応することを想定しておりますので、御協力いただきますようお願いいたします。

〔 栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
社会対策グループ TEL 2826 〕

各新型コロナウイルス感染防止対策取組宣言団体等の長 様

栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部長

業界団体と連携した新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底について (依頼)

本県の新型コロナウイルス感染症対策につきましては、日頃から特段の御理解、御協力をいただき御礼申し上げます。

さて、全国の感染状況は増加傾向が強まり、本県においても感染拡大に更なる注意が必要な状況であることから、警戒度レベルを「感染嚴重注意」に引き上げたところです。

今後の急速な感染拡大を防止するためには、これまで同様、県民・事業者の皆様の感染防止対策の徹底が重要です。

つきましては、下記事項の貴団体員等への周知について、御協力をお願いいたします。

また、業界団体における、ウェブ等による感染防止に関する研修の実施について、御検討くださるようお願いいたします。研修への県からの講師派遣や資料提供も可能ですので、希望される場合は各業界団体の所管課宛て御連絡ください。

記

1 感染防止対策に係る別添資料による周知

○冬の感染防止対策～7つの基本～

県HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/toukinokansenshoutaisaku.html>

○感染リスクが高まる「5つの場面」

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室HP <https://corona.go.jp/proposal/>

2 年末年始等の業界誌等への感染防止対策の掲載

3 LINEを活用した「とちまる安心通知」への参加

4 業界団体によるウェブ等を活用した感染防止に関する研修の実施

※県からの講師派遣や資料提供可能。所管課宛て御連絡ください。

栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
栃木県新型コロナウイルス生活相談センター
TEL 028-623-2826



1 身体的距離の確保

- ・人との間隔はできるだけ空けましょう。
- ・会話をするときは、できるだけ真正面を避けましょう。



2 マスクの着用・咳エチケット

- ・外出時や屋内でも会話をするときは、症状がなくてもマスクを着けましょう。
- ・咳エチケットを徹底しましょう。



3 手洗い

- ・家に帰ったら、まずは手や顔を洗いましょう。
- ・30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗いましょう。
- ・こまめに手を洗い、手指消毒もしましょう。



4 換気と加湿

- ・こまめに換気をしましょう。
- ・風の流れることができるよう、2方向の窓を開けましょう。
- ・窓が1つしかない場合は、入り口と窓を開けましょう。
- ・適切な湿度(40%以上を目安)を保つと効果的です。



5 3密の回避



密集回避



密接回避



密閉回避

6 適切な運動や食事

- ・免疫力を高めるため、十分な休養とバランスの取れた食事、適度な運動を心がけましょう。
- ・冬は夏に比べて水分摂取量が減るため、水分摂取を心がけましょう。



7 健康チェック

- ・毎朝、体温測定しましょう。
- ・発熱や風邪の症状があるときは、無理せず、自宅で療養しましょう。



※発熱等がある場合の受診方法

- ①かかりつけ医等最寄りの医療機関に電話してください。
 - ②かかりつけ医等最寄りの医療機関に連絡できない場合は、受診・相談センター(TEL 0570-052-092)に電話してください。
- ※診療・検査医療機関を案内します。
 ※検査の可否は、医師が判断します。
- ◆日本語以外の相談は、外国人向け新型コロナウイルス相談ホットライン(TEL 028-678-8282)に電話してください。

いつもと違う、
初めての冬

いつでもマスク 気をつけたい「5つの場面」

大人数や
長時間に
およぶ飲食



飲酒を伴う
懇親会など



マスク
なしでの
会話



狭い空間
での
共同生活

居場所の
切り替わり



「ありがとう」が感染予防の輪をつくる



新型コロナウイルス感染症対策推進室

これから守って欲しいこと

- マスク着用・三密回避、室内換気を
- 手洗い・アルコール消毒を
- 会話は静かに
- 体調不良時、発熱時は出かけない
- 集まりは少人数・短時間で

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

